



2026 年 8 月 26 日

ひまわりグリーンエネルギー株式会社による系統用蓄電池事業への参入について ～いすみ系統用蓄電所を新設～

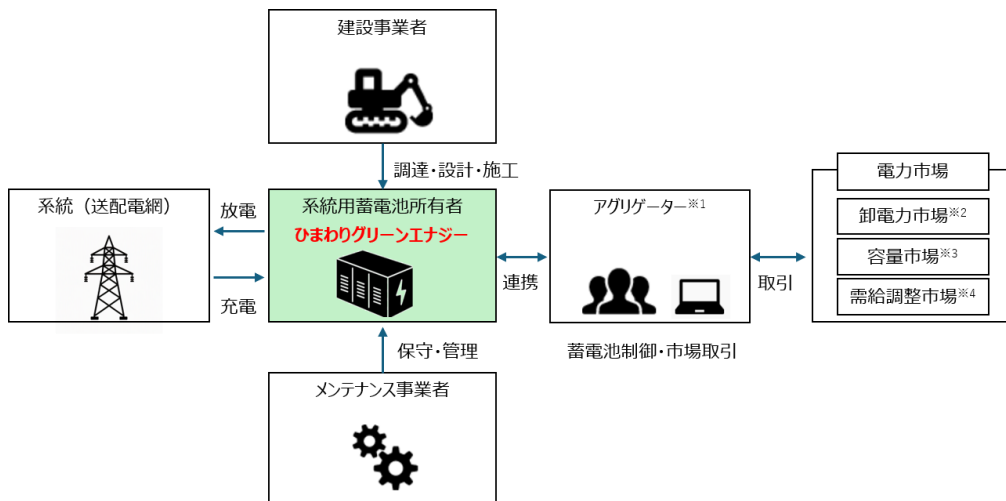
千葉銀行（頭取 米本 努）は、100%子会社であるひまわりグリーンエネルギー株式会社（代表取締役社長 本庄 敏彦）が、千葉県いすみ市に系統用蓄電所を新設し、系統用蓄電池事業（以下「本事業」）へ参入することをお知らせします。

近年、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、発電量の変動が大きくなっており、電力需給バランスの安定化が課題となっています。系統用蓄電池は、電力需給バランスを調整し、電力系統の安定化に効果があり、再生可能エネルギーの更なる拡大・主力電源化に向けた必要不可欠な設備として普及が期待されています。

本事業では、電力系統に直接接続した蓄電池（出力 2MW/容量 8 MWh）を設置し、電力需給の調整機能を提供します。蓄電池の充放電を迅速かつ柔軟に制御することで、再生可能エネルギーの発電量変動などに対応し、電力系統の安定運用に貢献します。なお、2027 年 4 月の運転開始を予定しています。

当行グループは、地域まるごと GX の実現に向け、本事業を通じて、再生可能エネルギーの更なる拡大による地域の脱炭素化と電力系統の安定化に貢献してまいります。

【系統用蓄電池事業のイメージ】



- ※1：アグリゲーター：需要家と電力会社の間に立って、電力の需要と供給のバランスコントロールや、各需要家のエネルギーリソースの最大限の活用に取り組む事業者のこと
- ※2：卸電力市場：実際に発電された電気 (kwh) を取引する市場のこと。
- ※3：容量市場：将来の電力供給力 (kw) を取引する市場のこと。
- ※4：需給調整市場：電力の需給バランスを保つための調整力 (Δ kw) を取引する市場のこと。

以 上